

わたしたちの町会・自治会

親睦を深める環境を目指して

熊川住宅自治会 遠山さだ子

熊川住宅がここ熊川の地に建てられたのは、あの東京オリンピックの前の年、昭和38年のことで、平成15年に団地40周年のイベントを盛大に執り行いました。

場所は、福生市の東南に位置し、昭島市拝島町に都道で隣接、西側に多摩川の清流を臨む集合住宅で、自治会員は348世帯です。

自然環境に恵まれ、早春の白いコブシの花、住宅内を巡る市道141号沿いの桜並木の花トンネル、夏はケヤキ大木のもとで緑陰ラジオ

体操を行い、秋、心の中まで彩られるような紅葉、冬、葉を落とし高くなった青空の南西の方角には、新雪の名峰富士山が臨めます。

住宅内の各サークル活動は、小地域活動「こぐまサロン」、「南老人クラブ」、「ダンス同好会」、「趣味の会」、「カラオケクラブ」、「山雅会」と多種多彩に活躍しています。

また「防犯対策推進員」による住宅内パトロール、「青少年子ども対策」が企画する季節ごとのイベント活動。

毎月1回集会場で開催される自治会協賛の「健康講座」では、身近な情報を習得し、恒例の毎夏のメインイベントである「団地祭」



健康講座

には、全員協力して活性化を図っています。

昨今、身辺を取り巻く諸問題の多くが複雑化し、個人個人ではなかなか対応が難しくなっておりますが、力を寄せ合う組織としての自治会を多くの方に認識していただきたい、と考えております。

最大の行事「ほたる祭」

熊牛町会 高橋 勉

熊牛町会の正式名称は熊川牛浜町会です。それは地番が大字熊川字牛浜であるところからつけられたものです。また位置的には福生市の中央寄りにあり、北は五日市街道、東は国道16号線、西は奥多摩街道、南は一中付近までの範囲です。

そして、当町会の数ある行事の中でも最大の行事は「ほたる祭」です。この「ほたる祭」は、福生市の三大祭りの一つと自負していますが、反面盛大になりすぎ、全て町会役員が取り仕切らなければならぬので役員の負担もたいへんです。

「ほたる祭」は昭和38年頃、玉川上水にホタルが異常発生したのがきっかけで始めたそうです。し

かし、羽村の堰の玉川上水の護岸工事でのセメントのアクや水を止めたことや上水が干し上がったことが原因で、ホタルの幼虫や餌となるカワニナが死滅したためにホタルが見られなくなりました。そのため、当町会の会員を中心にホタル研究会が発足し、ホタルの乱舞が再び見られるようにホタルの飼育に取り組んでいます。

今年43回目を迎え、昨年ほたる公園でホタルの盗難があり、このことがマスコミに取り上げられ、また天候にも恵まれたことで4万1千人（町会発表）の来場者で賑わいました。当町会の「ほたる祭」はホタルの鑑賞だけでなく、町会・他町会の各団体の模擬店及び民舞・ダンス・吹奏楽・和太鼓・カラオケ・舞踊等の演芸も披露していますので遠方からの来場者も多く、幼児から高齢者まで楽しんでいただいています。

この他にも独自の事業として世代間交流ゲートボール大会があります。これは三世代（祖父母・父母・子ども世代）が一緒にゲートボールを楽しみながら交流を持ち、お互いに知り合うことで子どもの見守りにも役立たせたいと思っています。また、防災研修旅行は町